

機動隊員等を励ます会

中国四国支部激励会に260人 治安維持の最前線支える隊員に謝意

機動隊員等を励ます
会中国四国支部（支部
長・堀口悟史堀口海運
社長）は2日、広島市
のANAクラウンプラ
ザホテル広島で支部総
会・激励会を開催。第
一線で活躍する機動隊
員を励ますと、日本
製鉄関係者やその取引
先、警察幹部など総勢
260人が出席して交
流を深めた。

挨拶する堀口支部長①、中村理事長



冒頭挨拶で堀口支部長は機動隊員の日頃の活動に謝意を表明。併せて、先の広島県知事選で応援ボランティアに参加した際の経験を披露した。広島市内繁華街で行われた決起集会では、岸田文雄元総理大臣らが応援演説に駆けつけ、要人警護の警備体制が敷かれる中で、ボランティアスタッフも受付・誘導に加えて手荷物検査や金属探知機を使ったセキュリティチェックを担当したという。「期せずして警備の一端を担い、身震いする思いだった。同時に、現場で警察関係の皆さんが一般目線では気付きにくい部分まで周囲をしつかり固め、皆さまの存在が現場の安心感を作り出していると改めて実感した」と述べ、「激

励会は感謝の思いを直接伝えられる貴重な

場。少しでも皆さまの励ましとなり、感謝している人がいると感じていただける時間となつてほしい」と締めくくった。

続いて、中村眞一理事長（日鉄物産社長）は、「当会は治安維持の最前線で奮闘する機

動隊の皆さまを民間の立場から激励しようとの有志の集まりで、昨年創立50周年を迎えた。主な活動は本部、各支部での激励会をはじめ、各種式典、国境警備、災害救助活動などへ支援金寄贈を続けている。本日の激励会

は会員と隊員の親睦を深める重要な機会」と述べ、積極的な交流を呼び掛けた。来賓挨拶に続けて広島県警察音楽隊が演奏を述べ、万歳三唱を行って盛会裏に締めくくった。

鉄鋼新聞（2025年12月5日）